



女房と子供



膏薬売り



茶筌売り(高野聖)

企画展

市民からのおくりもの2016

—平成27年度 新収蔵品から—

特別展

よみがえれ! シーボルトの 日本博物館

次回
特別展

戦国時代展

— A Century of Dreams —

シーボルトのお抱え絵師・川原慶賀筆「人物画帳」(部分) 江戸時代後期

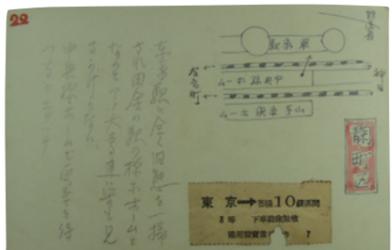
長崎出島に滞在していたオランダ商館付医師シーボルトは、1826年(文政9)の江戸参府の際、町絵師の川原慶賀を同行のうえ、合わせて109人にのぼる人物を描かせた。シーボルトはその一部を著書『日本』に挿絵として掲載し、当時のヨーロッパに「知られざる日本人」を視覚的に紹介した。



亀甲花菱文地三葉葵紋姿見鏡
付梨子地葵紋散松菱梅花文様蒔絵鏡架
1698年(元禄11)
資料番号:15200119



江戸東京博物館では、江戸東京の歴史と文化に関する資料を収集し、それらを未来へ伝えるために保存管理しています。また、資料が持つ様々な情報について調査研究を行い、その成果を展示などで公開しています。企画展「市民からのおくりもの」は、博物館が新たに収集した資料を、みなさまにご覧いただく展覧会です。平成27年度は580点にのぼる資料を、博物館の収蔵品に加えることができました。



東京戦災スケッチより
東京駅の一隅
織田信大/画
1945年(昭和20)8月16日
資料番号:15000103

市民からのおくりもの2016

—平成27年度 新収蔵品から—

10月15日(土)〜12月4日(日)



東京都江戸東京博物館
館長
ふじもり てるのぶ
藤森 照信

新館長ご挨拶 オリンピックに向けて

Profile

生年月日 1946年(昭和21)11月21日
1982年(昭和57)11月 東京大学生産技術研究所専任講師
1985年(昭和60) 8月 同 助教授
1998年(平成10) 7月 同 教授
2010年(平成22) 4月 工学院大学教授
2010年(平成22) 6月 東京大学名誉教授(現職)
2014年(平成26) 9月 工学院大学特任教授(現職)
2016年(平成28) 7月 東京都江戸東京博物館館長

2016年7月より竹内誠館長のあとを受け、館長となりました。当館との関わりは長く、開設準備の段階で最若手として、本館の近代の展示と分館たてものの園の収蔵を担当しました。その時は、初代館長児玉幸多先生を遠くに見ただけでしたが、後に二代目館長に就任した小木新造先生と三代目の竹内誠先生からは直接の指導を受けました。その後、江戸東京博物館運営委員など各種委員として館の動きを見させていただきました。当館は博物館としては歴史は浅いけれども、それでも紆余曲折は避けられず、館内外の努力と知恵により現在に至ったわけです。もし、竹内先生なかりせば

こうはいかなかったと、改めて18年の長きに及ぶ館長としてのご尽力に感謝いたします。竹内先生には名誉館長として今後もご指導を受けることになっております。常設展示もリニューアルを実現し、特別展示も実績を積み、首都東京の歴史系博物館として名実ともに確たる地歩を固めることができました。そしてこの方向を維持してゆくのが私の務めと考えています。2020年の東京オリンピックを迎えるにあつてのボランティアや展示解説や展覧会など、これから数年かけての仕事に、急がず慌てず取り組んでゆくつもりですので、よろしくお願いいたします。



ミュージアム・ラボにようこそ!!



常設展示のリニューアルで新設したミュージアム・ラボでは、学芸員が企画したユニークなイベントを開催しています。木曜日の午後1時30分から2時30分に、ちょっと前まで身近にあった生活道具に触れるプログラム、「さわってみよう! 昔の道具」を行っています。昔の電気アイロンは重いこと、炭火アイロンは炭を入れる口があることなど、触れてみて初めて気づくことも多いようです。使ったことがある方がコツを教えてください。プログラムなどがあります。

また、第3日曜日を月に一回、オリジナルの見立て番付を作るプログラム(10月開催予定)や甲冑に触れたり着用するプログラム(11月開催予定)などさまざまなワークショップを開催しています。11月は木目込み、12月は江戸文字のワークショップを墨田区の職人さんをお願いして開催する予定です。どうぞお気軽にご参加ください。



昔のアイロン体験中!



さあ、これから提灯に江戸文字を書きよ!



次回
特別展

戦国時代展

— A Century of Dreams —

戦国時代は、1454年(享徳3)に関東で始まった「享徳の乱」、1467年(応仁元)に京都で勃発した「応仁・文明の乱」をきっかけに始まりました。その後16世紀後半に至るまで、おおよそ織田信長が将軍・足利義昭を追放した頃まで続きました。

日本における戦国時代といえ、室町幕府の衰退に伴って各地で有力大名が台頭し、相次ぐ戦乱によって国の秩序が大きく乱れた時代だと捉えられてきました。中央集権の解体により、上杉謙信、武田信玄、毛利元就あるいは織田信長など有力な大名たちはそれぞれの地方で、自らの領国の経営に力を入れるようになります。群雄が割拠し、領土を拡張する。このような戦国時代像が昔より語られていました。

みどころ
退りぞかない!
毛虫の前立に込めた
佐竹義重の決意

秋田市指定有形文化財
黒塗紺糸威具足
天文5年(1536)
秋田市佐竹史料館蔵
【展示期間:1月2日~1月29日】

ところが近年では、このイメージが見直されてきています。幕府が衰退しても、京都で生み出された絵画や建築、そして茶の湯などの文化が列島各地へもたらされ、その地で新たな地域文化として再生産されました。そして中国や朝鮮さらにはアイヌに至るまで東アジアとの交流があつた時代でもあります。

戦国時代は列島規模で各地に大きな文化的、経済的な実りをもたらした時代でした。

本展では、戦国時代の列島各地の歴史資料や美術工芸品を一堂に展示し、多様な広がりを見せる時代を叙述しつつ、逞しく躍動した人々の姿を追います。新たな戦国時代の姿を描くこの展覧会が、様々な困難に直面する私たちに對して、豊かな未来を創造する活力となることを願っています。(学芸員 齋藤慎一)



みどころ

桃山文化を先取りした極彩の花鳥図
重要文化財 四季花鳥図屏風 右隻
狩野元信/筆 室町時代・天文18年(1549) 兵庫・白鶴美術館蔵
【展示期間:1月9日~1月29日】

みどころ

正親町天皇から
上杉謙信が
拝領した栄誉
短刀 銘 吉光 号 五虎退
13世紀 個人蔵
【展示期間:1月2日~1月29日】



特別展

よみがえれ! シーボルトの日本博物館



みどころ

雲竜文の太鼓に諫鼓鶏の有田焼の香炉
(シーボルト・コレクション)
赤絵染付諫鼓鶏香炉
みよこ
赤絵染付諫鼓鶏香炉
ミュンヘン五大陸博物館蔵

あまりにも多彩で、かつ膨大な質と量を誇る「シーボルト・コレクション」を形成したワイリツプ・フランツ・フォン・シーボルトは二回にわたり来日しています。一回目は1823年(文政6)にオランダ領東インド政府の商館付医師として長崎出島に初めて赴任してからのおよそ六年間。二回目は開国後、1859年(安政6)からの三年間で、江戸を中心に横浜や長崎などにおいて日本研究のための資料を精力的に収集しました。

今日、これらは19世紀の日本および日本人の生活と文化の諸相を明らかにするうえで、きわめて貴重な在外日本コレクションと位置づけられています。第一回のコレクションはおもにオランダのライデン国立民族学博物館に、また第二回のそれ



みどころ

千里先の出来事を感じる航海安全の鬼神
(シーボルト・コレクション)
千里眼立像
ミュンヘン五大陸博物館蔵

みどころ

城崎(兵庫県)の名産・麦わら細工
(シーボルト・コレクション)
幾何学文小筆筒
ミュンヘン五大陸博物館蔵



はドイツのミュンヘン五大陸博物館に現在も大切に保存されています。

実は、シーボルトはみずから築き上げた日本コレクションを駆使して、民族学博物館の設立を構想していたのです。特に最近の研究により、どの収集品を用いて、どのような内容を表現しようとしたのか、シーボルトが企画した展示そのものの中身が具体的にわかってきました。

本展では、おもにミュンヘンの第二回コレクションから「シーボルトの日本博物館」をよみがえらせるべく、その再構成に取り組みました。

1996年に当館で開催した「シーボルト父子のみた日本」展から21年ぶり、さらなるバージョンアップにご期待ください。(副館長 小林淳一)

information

特別展「戦国時代展 — A Century of Dreams —」

会期 | 2016年(平成28)11月23日(水・祝)~2017年(平成29)1月29日(日)
休館日 | 毎週月曜日(ただし、1月2日・9日・16日は開館)
年末年始 | (12月26日(月)~1月1日(日))
開館時間 | 9:30~17:30(土曜は19:30まで) ※入館は閉館の30分前まで。

※次の場合は観覧料が無料です。未就学児童。身体障害者手帳・愛の手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳・被爆者健康手帳をお持ちの方と、その付き添いの方(2名まで)。

主催 | 公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都江戸東京博物館、読売新聞社、日本テレビ放送網、BS日テレ 協賛 | 日本写真印刷
◎チケット販売場所: 江戸東京博物館、チケットぴあ、ローソンチケットなど主要プレイガイド。特別展・常設展共通券の販売は江戸東京博物館のみです。

観覧料(税込)	特別展専用券	特別展・常設展共通券
一般	1,350円(1,080円)	1,560円(1,240円)
大学生・専門学校生	1,080円(860円)	1,240円(990円)
中学生(都外)・高校生・65歳以上	680円(540円)	780円(620円)
小学生・中学生(都内)	680円(540円)	—

特別展関連事業

「戦国時代展関連パネルディスカッション(仮称)」
12月25日(日) ※事前申込制となります。応募方法や受講料などの詳細は、ホームページ、または館内配布のチラシをご覧ください。

information

特別展「よみがえれ! シーボルトの日本博物館」

会期 | 2016年(平成28)9月13日(火)~11月6日(日)
休館日 | 毎週月曜日(ただし、9月19日・10月10日は開館) ※10月11日(火)は休館
開館時間 | 9:30~17:30(土曜は19:30まで) ※入館は閉館の30分前まで。

※次の場合は観覧料が無料です。未就学児童。身体障害者手帳・愛の手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳・被爆者健康手帳をお持ちの方と、その付き添いの方(2名まで)。

主催 | 公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都江戸東京博物館、朝日新聞社 企画連携 | 人間文化研究機構 国立歴史民俗博物館
特別協力 | ミュンヘン五大陸博物館、ブランデンシュタイン=ツェッペリン家 協力 | 全日本空輸 後援 | 日本赤十字社 ◎チケット販売場所: 江戸東京博物館のみ

観覧料(税込)	特別展専用券	特別展・常設展共通券
一般	1,400円(1,120円)	1,600円(1,280円)
大学生・専門学校生	1,120円(900円)	1,280円(1,020円)
中学生(都外)・高校生・65歳以上	700円(560円)	800円(640円)
小学生・中学生(都内)	700円(560円)	—

えどはくカルチャー特別展関連講座

10月19日(水) 再来日時の日記にみえるシーボルト・コレクション 石山禎一(元東海大学講師)
10月28日(金) 書簡が語るシーボルト像 宮坂正英(長崎純心大学大学院教授)
11月 2日(水) シーボルトの日本博物館構想と川原慶賀筆『人物画帳』 小林淳一(当館副館長)

※往復はがきによる事前申込制となります。応募方法や受講料などの詳細は、ホームページ、または館内配布のチラシをご覧ください。

垢離場と茶屋

都市歴史研究室 学芸員
沓沢博行・文

水に浸かり、その身を清めることを水垢離や垢離と呼ぶ。江戸の人々は、寺社への参詣や病氣平癒などの祈願の際に水垢離を行った。江戸には水垢離をするための場所がいくつもあったが、中でも代表的なのが大川（隅田川）に架かる両国橋の東詰、下流側のたもとに位置した「垢離場」であった。江戸時代、職人などの間で流行した石尊大権現（現在の大山阿夫利神社）への参詣、いわゆる大山詣の際には、この垢離場で身を清めた後に旅立つのが慣習となっていた。大山山頂への立ち入りが許されるようになる旧暦6月27日からの「夏山」期間には、奉納する木太刀を担いだ参詣人で垢離場は大変混雑したといわれ、図版①のように錦絵などにも、水垢離をする人々がよく描かれている。

さて、多くの人々が利用したこの垢離場では、水垢離がしやすいように川に石段や石畳が整備されていたほか、利用者を当て込んだ商売も営まれていた。その様子を伝える絵が、当館の収蔵品の中にある。図版②は、「隅田川図屏風」という資料の両国橋付近を拡大したもので、ここには柵で囲まれた垢離場の様子が描かれている。川には手を合わせて水垢離をする5人の男性がおり、川のそばでは彼らの着物を預かっていらしき男性が座っている。また奥の建物の中には何かを柄杓で汲んでいる人もおり、その傍らには水垢離をしている人数と同じ、5つの器が置かれているように見える。水から上がった彼らに呈するお茶を入れているのだろうか。服を預かり飲食を提供する、まるで現代で言うところの海の家のようなサービスである。どういふ人物が誰の許しを得て商売をしていたのか。謎も多いが、こうした商売があることで、本来苦行である水垢離もいくぶん快適に行えたのだろう。

水垢離は身を清めるための信仰儀礼であった一方で、暑い盛りに行えば楽しみにもなった。この後旅立つ大山詣でも帰りの旅路で遊興するという楽しみがあり、それが参詣の人氣にもつながっていた。信仰と娯楽、聖俗の両面を併せ持つ江戸の暮らしが、この垢離場の様子からも伝わってくる。



②「隅田川図屏風」(部分)
18世紀前半頃
資料番号:96200335



①「東都名所 両国の涼」
歌川国芳/画 天保年間
資料番号:90203038

Information

TOPICS 今年も開催！ 「伝統芸能フォーラム」

当館では江戸東京の伝統芸能を気軽に楽しんでもらうため、毎年「伝統芸能フォーラム」を開催しています。今年の子を思う母の心情が胸に迫る能「藤戸」、狂言「附子」、豊臣秀吉・徳川家康・前田利家が演じた記録も残る「居杭」が観られます！解説付きのお得な公演をぜひお楽しみください。



©亀田邦平

「伝統芸能フォーラム」

- ◆ 12月3日(土) 能
第一部：解説と謡の体験
第二部：能 宝生流「藤戸」
- ◆ 12月4日(日) 狂言
第一部：解説・体験 ～狂言に触れてみよう～
大蔵流「附子」
第二部：大蔵流「居杭」

※ 場所はいずれも1階ホール ※ チケット販売情報などは別途お知らせします

図書室から LIVE REPORT

秋の図書室小展示 「モダンをつくった商業美術」

大量生産・大量消費型の都市生活が幕を開けた1920～30年代、購買を促すため商品や企業を総合的にデザインする「商業美術」が発展しました。その流れを牽引した商業美術家協会の中心人物、濱田増治らが編集した『現代商業美術全集』(※1)や、資生堂意匠部で多くのポスターを手がけた山名文夫をはじめ、著名な図案家たちの業種別『廣告圖案集』(※2)など、商業美術という分野を確立する一翼を担った本を集めました。当時流行のモダンなデザインを、ご覧ください。

※1 『現代商業美術全集』全24巻

濱田増治/責任編集 アルス/発行

1928～1930年(写真右第5巻、写真中央第4巻)

※2 『カフェバー喫茶店廣告圖案集』

山名文夫/著 誠文堂/発行

1930年写真左



休室のお知らせ

蔵書点検のため、下記の日程で休室いたします。ご不便をおかけいたしますが、なにとぞご了承ください。
休室期間：12月12日(月)～2017年1月4日(水)
(年内最終開室は12月11日(日)、年始は1月5日(木)からご利用いただけます)

お知らせ

「すみだ北斎美術館」 11月22日開館

江戸時代後期に活躍した浮世絵師・葛飾北斎(1760～1849)が生まれたのは本所割下水付近、現在の北斎通り付近にあり、当館からもすぐ近くです。まさに北斎ゆかりの場所に、11月22日(火)、「すみだ北斎美術館」がオープンします。「北斎の画室」模型が人気の当館との様々なタイアップも予定されています。
芸術の秋に、北斎ゆかりの二つの館を巡り歩いてはいかがでしょうか。



すみだ北斎美術館 外観



すみだ北斎美術館

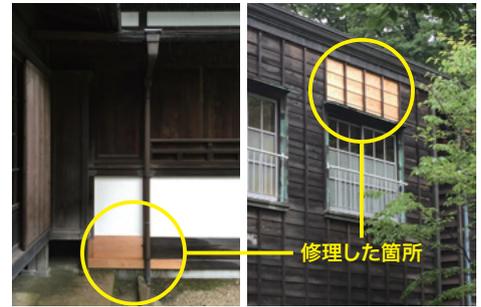
HP | <http://hokusai-museum.jp/>
東京都墨田区亀沢2-7-2 ※江戸東京博物館から徒歩5分
電話 03(6658)8931(代表)

江戸東京たてもの園に移築されている建物のほとんどは木造建築です。木造の長所のひとつは、部材ごとに分解できることであり、傷んだ部分を接ぎ木したり交換した後、ふたたび組み立てることができます。法隆寺や東大寺をはじめとする名建築の数々もまた、そのように修理されながら、今日まで残っているのです。

たてもの園では、修理の際に新しい材を用いるとき、その箇所がはつきりわかるようにしています。古っぽく仕上げたほうがまわりに溶けこんでいいように思いますが、何十年後に人が見たとき、どこが修理した箇所かわからなくなってしまいます。歴史的な建物を丁寧に修理しながら、その痕跡とともに後世に伝えていく、そのことを私たちは大切にしています。

たてもの園の建造物にそうした箇所を見つけたとき、「あ、未来へのメッセージなんだな」と感じていただければ幸いです。

直しながら残していくー 未来へのメッセージ



高橋是清邸から西川家別邸への渡り廊下

丸二商店南面外壁の下面板

催し物のご案内 秋期ふれあい体験教室

事前応募制教室

- 歴史散歩「南千住から三ノ輪まで」
～歴史と文化をたどる～
日時/11月6日(日) 13:00～16:00
※荒天時は11月13日(日)に順延
対象/一般 定員/20名
締切/10月22日(土)

※講師/ふれあいボランティア ※いずれも参加料無料

- 歌舞伎の化粧をしてみよう(大人向け)
日時/11月12日(土) 13:30～15:30
対象/高校生以上 定員/20名
締切/10月29日(土)
場所/1階 会議室



お申し込み方法

往復はがきに住所・氏名(2名まで)・年齢・電話番号・希望講座名を明記の上、下記へ(締切日消印有効)
〒130-0015 東京都墨田区横網1-4-1
江戸東京博物館 ボランティア事務局
ふれあい体験教室係

当日受付教室

- 神無月茶席
日時/10月1日(土)
① 13:00～13:30
② 13:45～14:15
③ 14:30～15:00
対象/小学生以上 定員/各回15名
場所/1階 会議室(整理券配布12:00～会場前)



- 藍色のハンカチで
クリスマスミニリースを
作る
日時/11月12日(土)
① 13:00～13:30
② 13:45～14:15
対象/小学生以上
定員/各回25名(1家族2つまで)
(整理券配布12:50～会場前)



※場所の表記がない場合、常設展示室5階ミュージアム・ラボで開催。 ※いずれも参加料無料(但し常設展示室が会場の教室は観覧料別途必要)
※講師/ふれあいボランティア ※3階江戸東京ひろばで開催の教室は、荒天などによるひろば閉鎖時は中止となります。

- オリジナル紙独楽を作ろう
日時/11月19日(土) ① 13:00～13:25
② 13:25～13:50
③ 13:50～14:15
④ 14:15～14:40
対象/小学生以上(但し小3までは大人と一緒に)
定員/各回6名(整理券配布12:50～会場前)



- 万華鏡で遊ぼう
日時/11月26日(土)
10:30～12:00(受付終了11:30)
対象/小3以上 定員/15名

- とぎめきキモノ体験
日時/11月27日(日)
10:30～12:00(受付終了11:30)
対象/3歳以上 定員/15名

- ぼち袋を摺ろう
日時/11月27日(日)
13:00～15:00
対象/小学生以上
定員/30名
場所/3階江戸東京ひろば北側休憩所

- 和算パズル
日時/12月3日(土)
13:00～15:30(受付終了15:00)
対象/小4以上

- 反古紙で小物を作ろう
日時/12月3日(土)
13:00～15:30
(受付終了15:00)
対象/小学生以上



ミュージアムトーク

文化都市江戸
10月7日、14日
文明開化東京
10月21日、28日

現代の東京
11月4日、11日
企画展「市民からのおくりもの2016」みどころ
11月18日、25日

モダン東京
12月2日、9日
出版と情報
12月16日、23日

常設展示室のみどころを学芸員が解説します。
日時/毎週金曜日 16:00から
常設展示室5階の日本橋下までお集りください。
所要時間は約30分です。

平成29年度全館休館のお知らせ

平成29年10月1日(日)から平成30年3月31日(土)まで、改修工事のため全館休館を予定しています。
詳しくは追ってお知らせしてまいります。